

■コメント

1 手足口病

定点当たり3.43人の報告がありました。多い状況が続いており、注意が必要です。手洗いの励行、オムツの適切な処理など、感染予防対策を心がけましょう。

2 咽頭結膜熱

定点当たり0.81人と、前週の1.7倍に増加しました。アデノウイルスによる感染症で、5～7日の潜伏期間の後、発熱、喉の痛み、結膜炎などの症状が出現します。手洗いの励行、タオルの共用を避けるなど、感染予防対策を心がけましょう。

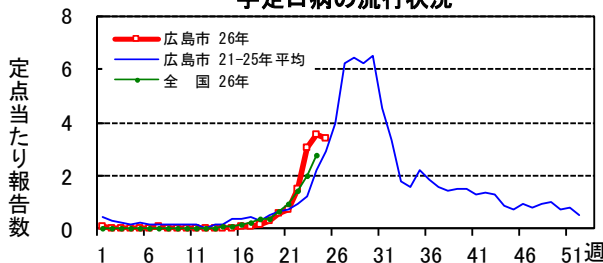
3 ヘルパンギーナ

定点当たり1.14人の報告がありました。減少傾向ですが、多い状況です。手洗いの励行、オムツの適切な処理など、感染予防対策を心がけましょう。

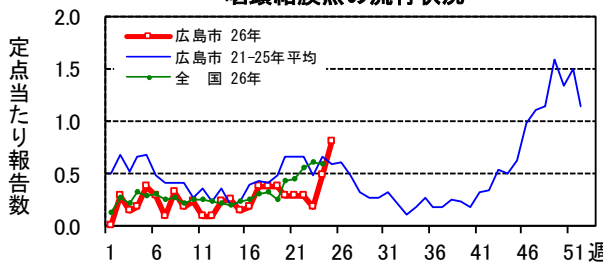
4 麻疹

2件の報告があり、今年の累計は3件となりました。(次ページ参照)

手足口病の流行状況



咽頭結膜熱の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	1859	54.68	/	⇒	小児科	突発性発しん	7	0.33	0.33	
	インフルエンザ	-	-	0.36			ヘルパンギーナ	24	1.14	0.96	↘
	新型コロナウイルス(COVID-19)	11	0.32	/			流行性耳下腺炎	-	-	0.06	
小児科	RSウイルス感染症	13	0.62	1.40		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	咽頭結膜熱	17	0.81	0.60	↗		流行性角結膜炎	-	-	0.68	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	42	2.00	2.06	⇒	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	93	4.43	5.18	⇒		無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	水痘	4	0.19	0.17			マイコプラズマ肺炎	1	0.17	0.36	
	手足口病	72	3.43	2.94	⇒		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.87			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.06	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	⇒		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症(ARI)定点数(内科・小児科)	34
小児科定点数	21
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	63	90歳代
3	腸管出血性大腸菌感染症	2	29	10歳未満・O157・2人
5	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	3	70歳代
5	梅毒	1	53	20歳代
5	麻疹	2	3	20歳代、40歳代

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	第21週	第22週	第23週	第24週	第25週	感染症発生動向調査に基づくARI病原体定点医療機関からの搬入分のみ掲載																		
							急性呼吸器感染症 (ARI)	インフルエンザ (COV19)	新型コロナウイルス	RSウイルス	咽頭結膜熱	球菌咽頭炎	A群溶血性レンサ	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎
		1,626	-	22	6	6	54	108	4	15	1	8	18	1	-	4	-	-	2	-	-				
		1,651	-	11	3	6	52	107	9	31	3	9	32	-	9	-	-	2	-	-					
		1,902	-	16	11	4	51	84	12	64	1	6	39	1	-	5	-	1	-	-					
		1,763	-	9	13	10	35	100	7	74	3	7	47	3	-	2	-	1	-	-					
		1,859	-	11	13	17	42	93	4	72	-	7	24	-	-	-	-	1	-	-					
定点当たり	広島市	47.82	-	0.65	0.29	0.29	2.57	5.14	0.19	0.71	0.05	0.38	0.86	0.05	-	0.50	-	-	0.33	-	-				
		48.56	-	0.32	0.14	0.29	2.48	5.10	0.43	1.48	0.14	0.43	1.52	-	-	1.13	-	-	0.33	-	-				
		55.94	-	0.47	0.52	0.19	2.43	4.00	0.57	3.05	0.05	0.29	1.86	0.05	-	0.63	-	0.17	-	0.17	-				
		51.85	-	0.26	0.62	0.48	1.67	4.76	0.33	3.52	0.14	0.33	2.24	0.14	-	0.25	-	-	0.17	-	-				
		54.68	-	0.32	0.62	0.81	2.00	4.43	0.19	3.43	-	0.33	1.14	-	-	-	-	-	0.17	-	-				
	全国	45.31	0.06	0.42	0.30	0.62	2.58	4.88	0.36	1.99	0.06	0.37	0.43	0.04	0.01	0.48	0.03	0.04	0.20	0.01	0.04				
		47.05	0.07	0.58	0.35	0.60	2.58	4.94	0.44	2.75	0.06	0.35	0.66	0.04	0.01	0.47	0.01	0.04	0.21	0.01	0.03				

■病原体検出状況(ARIサーベイランス)

感染症発生動向調査に基づくARI病原体定点医療機関からの搬入分のみ掲載

検体採取週	検査検体数	陽性検体数*	インフルエンザウイルス A H3N2	インフルエンザウイルス B (山形系統)	B型インフルエンザウイルス (ピクトリア系統)	B型インフルエンザウイルス (SARS-CoV-2)	新型コロナウイルス	A型RSウイルス	B型RSウイルス	ヒトメタニューモウイルス	ウイルス	パライノフルエンザ ウイルス1型	パライノフルエンザ ウイルス2型	パライノフルエンザ ウイルス3型	パライノフルエンザ ウイルス4型	ライノウイルス	エンテロウイルス	アデノウイルス
第20週	13	7					1							1		5	2	3
第21週	14	13					1	1	1	1	1	1		1		6		3
第22週	16	10							3					1		2	4	2
第23週	15	12					2		1	2						6		5
第24週	13	8								2	1			1		2	1	2

* 同一検体からの複数ウイルス検出例を含む(検査:広島市衛生研究所)

詳しくはホームページで [広島市 病原体](#)

★麻しん(はしか)に注意しましょう!

麻しんとは

麻しんウイルスによって引き起こされる感染症で、感染力は極めて強く、空気感染・飛沫感染・接触感染によって感染します。

潜伏期間・症状

感染すると、約10日後に、発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。発熱が2~3日間続いた後、39度以上の高熱と発疹が出現します。肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者1,000人に1人の割合で脳炎を発症し、先進国であっても1,000人に1人が亡くなると言われています。

予防方法

ワクチン接種が最も有効です。こどもの定期予防接種は早めに受けましょう。また、医療・教育関係者や海外渡航を計画している方も、麻しんの罹患歴や予防接種歴が明らかでない場合は、予防接種を検討しましょう。

受診時の注意点

麻しんが疑われる症状がある場合は、医療機関に電話連絡の上、公共交通機関の利用を控えて、医療機関の指示に従って受診しましょう。



麻しん(はしか)(厚生労働省)
https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/kenkou/kekkaku-kansenshou/measles/index.html



麻しん(はしか)風しんの予防接種(広島市)
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/medical/1021221/1021255/1022959.html>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/eisei/1003071/index.html>



【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
 TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp